

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	コンビニ（経営者）	・コールデンウィークが終わり、いつもの客が戻ってきている。いつものこつこつとニーズにこたえる品ぞろえと、タスポカード導入に対応したタバコの品ぞろえ充実の二刀流で流れをしっかりとつかめる。
		衣料品専門店（統括）	・毎年今ごろから、少し良い動きが出てくるが、今年はその兆しが少ない。ただし、幾らか夏に向けての商品の問い合わせ、見積、デザイン依頼等が増えてきているので、何とか夏に向けて良くなる。
	やや良くなる	通信会社（営業担当）	・ボーナス商戦での動きは今後活発になるが、思うほどの動きはない。先々の景気不安が押しよせられない限り、購買意欲は上がらない。
変わらない		一般小売店〔精肉〕（経営者）	・いろいろな物の値上がりが始まっている。商品に転嫁できない小売は、静かに現状を見るだけで、なかなか良い考えが浮かばない。そのため先行きは悪いまま変わらない。
		コンビニ（店長）	・各種商品の値上げが次々と行われ、また、先行きも値上げ予定が続いている。客の買上単価は更に低くなり、値段の比較的安いプライベートブランド商品の購入が増えている。先行きは更に減りそうであるが、何とか現状を維持したい。
		衣料品専門店（店長）	・原油高が続いた影響で、様々な商品やサービスが高騰しており、生活防衛のためにファッション、衣料に対する購買意欲の冷え込みはまだ続く。
		家電量販店（営業担当）	・客単価は前年より1,500円減少し、4か月連続の減少となった。買上点数が伸びているので全体はカバーできているが、大変厳しい状況である。
		乗用車販売店（従業員）	・ガソリン価格の高騰や暫定税率の復活等、自動車の販売を活性化する要素が全く見当たらない。総需要もこれ以上伸びることは期待できない。
		乗用車販売店（営業担当）	・客が1台の自動車を購入するのに、今までになく価格、燃費等に慎重になってきている。自動車を手放したいという相談が増えている。
		観光型ホテル（営業担当）	・景気が良くなる理由は思い当たらない。燃料、食材の値上げにより、軒並み販売価格を見直しているが、これにより値下げのし過ぎだったところが適正な価格に戻る。
		旅行代理店（支店長）	・個人の客については7、8月は最大の繁忙期として期待が持てる。反面、法人については、動かない月であるが、多くを期待していないので、今月よりは悪くなる要素は少ない。景気的には変わらないなかでも少し良くなる。
		旅行代理店（副支店長）	・海外旅行については燃油高騰が収まらない限り受注は減る。国内については海外へ行かない分国内に向くとは思えない。個人客についてもガソリン等の値上げが激しいため、足取りは重い。
		タクシー運転手	・相変わらず、深夜の利用客が少ない。
		通信会社（営業担当）	・物価の値上げに対し「怒りをどこにぶつけたら良いのか？」と言う客に、今より少しでもコストが増えるような商品を販売することは至難の業である。
		遊園地（職員）	・春シーズンを迎え、来客数は増えつつあるが、前年と比べると来客数の動きは鈍い状態が続いている。
		ゴルフ場（従業員）	・来客数の動き、予約状況並びに客の問い合わせ等が前月、前々月と対比して変わらない。また、これからの予約状況、問い合わせを見ても変わらない。
		その他サービス〔清掃〕（総務担当）	・企業間で給料等の格差は拡大しているが、6月になると多くの企業でボーナスが支給され、一時購買が増えるが7月以降は元に戻る。
		住宅販売会社（経営者）	・物件の売れ残りが目立ち、まだ売れない状況であり、客も物価の上昇などから財布のひもは固い。
やや悪くなる		商店街（代表者）	・塩化ビニール系の商品の値上がりが激しく、ますます売上が悪化しそうである。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・ガソリンの再度値上げに伴い、全体に値上がり傾向が見られる。給料の値上げが見込めない限り、消費者の財布のひもはますます固くなる。季節商材もよほどの天候異常にでもならない限り見込めない。

百貨店（総務担当）	・賞味期限は良く見る、中身の添加物を気にする客も増えている、中国産の商品は絶対駄目だという客も多い。老人医療の話題も客との話の中にある、各種値上りを懸念する声もよく聞かれる。客は商品に対してかなり敏感になっているので、これから景気はますます悪くなる。	
百貨店（販売促進担当）	・衣料品については、クリアランスは需要が高まると思うが、新作の秋口になってもこれといったヒット商品が無いため、売上の向上は見込めない。	
スーパー（経営者）	・食品原料の高騰により製品原価が上がっているが、消費者と直結している小売業では値上げが難しい。	
スーパー（統括）	・7～8月に再値上げ予定の商品が発表されるなど、値上げはまだまだ続き、消費者の財布のひもはますます固くなる。しかし、低価格や健康等をキーワードとした商品は今まで以上に伸びており、消費者のニーズや好みを明確にとらえて、的確な商品提供ができるかがかぎとなる。	
乗用車販売店（販売担当）	・今後2、3か月先に良くなる様子は全く見当たらない。従来の旅館、ホテル関係のオーナーが退いて、他県からの安売り専門のホテルのチェーンになった。それに伴い従業員の給料は半分まではいなくなるとも3分の2まで下がったり、雇用が継続されなくなったり、我々の業界を取り巻く状況は悪い。	
観光型ホテル（スタッフ）	・原油価格の高騰で、販売額、売上そのものが大きく減少するほどのことは無いが、利益率は確実に下がる。	
都市型ホテル（支配人）	・航空料金の値上げ、特に石油関係の値上げが経営にも響いて、売上が伸びない。公共料金、人件費、いろいろな原材料、消耗品の値上げが続いているだけに、ますます苦しくなっている。	
都市型ホテル（スタッフ）	・現状ではガソリンが高騰して、170円台に入り、非常に客の動きが鈍くなっている。ガソリンの問題により、客の動きが大きく左右されている。	
都市型ホテル（スタッフ）	・夏を迎えるにあたり宴会や暑気払い向けの格安プランの設定も考慮した。しかし、人件費が上昇したり、広告コストがかさむことで現状はかなり厳しく、再考を余儀なくされている。	
タクシー運転手	・スポーツイベントの乗り込み客に期待したいが、近頃は自家用車やバスを利用する人が多く期待薄である。	
通信会社（営業担当）	・原油高騰に歯止めが掛からないため、先行き不安から買い控えが浸透している。加えて仕入価格も高騰し、売れないのに販売価格が上がっていく悪循環が続いている。	
その他レジャー施設 [アミューズメント] (職員)	・全体的な消費に対する意欲が小さくなっている傾向がある。インターネットのマニア向けテレビゲームについては、当店の26台ほとんどすべて空きなく動いているが、レジャーに対する意欲への不安はあり、若干これから下降気味になる。	
美容室（経営者）	・美容室に来る一般の中年の客との間で、高齢者の医療制度、景気の悪さについて話題に上ることが多い。これらの会話、来店頻度から、客は不景気と非常に強く感じていることがわかる。	
住宅販売会社（経営者）	・全体的な物価高により需要が鈍り、購買意識が低下する可能性がある。土地等の一時的な不動産ブームも陰りを見せ、在庫が増え、価格の競争が考えられる。そこで、状況は悪化する。	
住宅販売会社（従業員）	・同業他社においても、住宅展示場、分譲住宅現場見学会への新規来場者が減少しているというデータが出ており、販売量の減少が避けられない。	
悪くなる	一般小売店 [酒類] (経営者)	・相次ぐ値上げで、消費者が生活防衛のために高級品を買わなくなっている。これからも相当悪くなる。
スーパー（販売促進担当）	・原油価格の低下が見込めないなか、物価上昇はまだまだ続くこと、生活防衛の買い方は更に進む。値下げをしてもその分集客が出来ず、売上が下がる傾向が加速している。また、競合の出店が予定されているため、更に限られた商圈の食い合いとなり、状況は厳しくなる。	
一般レストラン（経営者）	・食材を始め、割りばし、パック類に至る物価高を、価格に上乗せできないとの話を多くの同業他社から聞いている。	
スナック（経営者）	・良くなりそうな要素が何も無い。材料費の値上がりも厳しい限りで、お金を使う人がいなくなるのではないかと心配である。	

		都市型ホテル（経営者）	・原油高で値上げが相次ぎ、消費者は買い控え、無駄な出費をしない、お金を掛けない状態である。先の見えないトンネル状態である。
		都市型ホテル（スタッフ）	・今後2、3か月先は1年間を通じて暇な状況になる。今からネットを通じた安価なプランの販売に加え、サービス充実をさせていく必要がある。各レストラン、宿泊プラン等の施策も検討して告知に全力を挙げる。
		旅行代理店（従業員）	・海外旅行に関しては、燃油サーチャージの値上げで旅行費用が高くなり、じり貧状態である。7月に再値上げの噂があるが、これ以上値上がりすると海外旅行の客が激減するおそれがある。
		タクシー（経営者）	・昼も夜も全体の動きが悪いので、この先も悪い。
		観光名所（職員）	・長野県の観光関連業種全般的に停滞しているなかで、特に別荘などの高額商品は全く売れない状況である。
		設計事務所（経営者）	・建設資材の値上がり等で、設備投資が停滞している。また、ガソリン、生活資材等の値上がりで不安感がある。
企業 動向 関連	良くなる	その他製造業〔環境機器〕（経営者）	・今まで5年掛かって新開発し、改良し続けたスプレー缶、ガス缶処理装置等の環境機器が、全国15か所に設置となる。その内で5か所の製造、納品、設置が9月まで掛かる予定であるため今後の見通しは悪くない。また、今後は、メンテナンスも仕事の上乗せになることに加えて、前年からの法規制で大型建物からのフロンガス回収、フロン回収機の製造販売、メンテナンスが仕事の上乗せになるので、この先下がることはない。
	やや良くなる	一般機械器具製造業（経営者）	・建設機械の部品は6月以降の納期のものが増加している。自動車関連の部品は1か月か2か月遅れて立ち上がる予定である。
	変わらない	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・毎月、民事再生手続きに入った会社、自己破産に入った会社があり、厳しい状況は変わらない。
		金属製品製造業（経営者）	・現在、このエリア帯は金属関係、板金、プレス、金型の業界が多く、大手の軽自動車の仕事が多い。しかし、その大手が長年続いた軽自動車の生産を中止して、他社からのOEM供給ということになり、この先どう推移するか分からない。これにより大きく景況感も変わってくる。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・秋以降の受注は若干見通しがあるが、ここ2、3か月の受注見通しは計画の3割から4割マイナスになる。
	やや悪くなる	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・紙代の値上げ、資材の値上げ、どうしても値上げはやむを得ないが、客に値上げを認めてもらうのは難しく、景気は悪い。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・金属材料の高騰で、関係商品の値上げを余儀なくされ、その結果、特にWebでの販売量が著しく減少している。表示価格に対する消費者の意識がある程度落ち着くまでこの状態が続く。
		一般機械器具製造業（生産管理担当）	・取引先各社から秋口に回復する見込が出ているが、夏場に数が戻るといっては全く出ていない状況である。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・得意先の注文量が少しずつ減っている。
		電気機械器具製造業（経営者）	・取引先が、受注ダウンへの対応で製品の改版計画を前倒しして受注アップに努めている。
電気機械器具製造業（経営者）		・6月、7月と当社は新規の大型物件が入ったので売上が前年比10倍、20倍となるが、他の新規以外の取引先では受注量は落ちてきているのが現状である。飛び込みの受注がなければ相当厳しい景気である。仲間の企業が「仕事下さい」と電話や訪問をしてるので景気はかなり落ち込んでいる。	
新聞販売店〔広告〕（総務担当）		・賞与を支給する予定の会社でも、4月の昇給は実施したが、賞与は上げられないとの話が企業間の情報交換として聞かれる。また、原材料や物価の高騰は企業業績をジワジワと圧迫してきているとの話もあった。	
悪くなる	食料品製造業（製造担当）	・1バレル150ドルを越すことが現実味を帯びてきている。ガソリンも6月から170円を越すとされているので、経費倍増で資金繰りが非常に困難になってくる。	
	化学工業（経営者）	・全国的に当社製品の販売の市場が悪い。以前は、関東は悪いが、九州は良いなど地域に温度差があったが、今は全国的に冷え込んでいる。	
	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・価格上昇に伴うコスト転嫁が非常に難しい。したがって、収益が悪化しており、賞与関係も削らざるを得ない。また、需要も伸び悩み始めている。今後、合理的な施策も展開せざるを得ない。	

		建設業（総務担当）	・公共工事、特に県関係の事業の遅れの影響と、安値受注競争の影響で、4月より公共工事受注がゼロであり、先行き不透明な状況である。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・ガソリン、石油製品のほか、食材等の物価高もあり、生産関係の求人数は幾分控えてくる。賃金等については全般に上げ幅が少ない。下請工賃、パート賃金等も据置きという動きが出ており、厳しい。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・依然として建設土木関連が特に悪く、また、中心商店街の販売不振により廃業する店もあり、不安定な状況が続いている。
		学校〔短期大学〕（就職担当）	・大手を中心とした企業側の採用ピークは過ぎたが、中小企業においては、これから夏休み前を目標に活動を継続する企業や、他の動向を見ながらスタートする企業も出る。しかし、時間の経過とともに企業数、職種や採用枠は減少していく。
	やや悪くなる	人材派遣会社（社員）	・来客数が増えてくる材料があまり無い。当社が中心としている地区については、良い材料が見当たらず、上がっていく見込みがない。
		職業安定所（職員）	・新規求人数はほとんどの産業において前年同月に比べ減少となっている。
民間職業紹介機関（経営者）		・原材料の高騰、円高、下期の受注不安から、技術職、専門職の即戦力以外の採用は、極めて慎重になってきている。	
悪くなる	職業安定所（職員）	・工場閉鎖で6月末に100名以上の離職者が発生する上、他にも小口の人員整理が目立つようになってきている。	
	職業安定所（職員）	・事業廃止件数の増加や事業縮小による求人取消が見られる。	